

5.計画の目標

5-1 目指すべき将来像

渡良瀬遊水地は、周辺地域に暮らす方々の生活や社会活動に深く関わっており、この貴重な湿地環境を守り、引き継いでいくためには周辺地域と一体的に将来像を考えていくことが必要不可欠です。地域の方々と共に「ワイズユース」という理念を基に行動し、湿地生態系の機能や湿地から得られる恵みを継続的に享受しながら、地域の暮らしがより豊かになることを目指して、渡良瀬遊水地の30年先の姿を設定します。

30年先の姿は、治水機能を維持しつつ、渡良瀬遊水地及び周辺地域の特性や現状、特に第2調節池や旧思川の昔からの生態系に配慮して「人も自然も育まれ、いのちつながる渡良瀬遊水地」を実現することをテーマに掲げ、下記のとおり設定します。

人も自然も育まれ、いのちつながる渡良瀬遊水地

人と自然が互いに良い影響を与えながら成長し、魅力的な場となることで関わる人も増え、人と人、人と自然のいのちのつながりが生まれ、好循環をもたらすことを目指します。



ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦やヨシ焼きが継続的に行われており、高品質なヨシのある遊水地の広大な風景は変わらずに地域住民の心のよりどころとなっています。

渡良瀬遊水地第2調節池の周辺では子ども向けに生き物調査や、ヨシを利用した体験・観察プログラムなどのフィールドワークが活発に開催されています。



市民農園の収穫体験で採れた野菜を使った料理教室が開かれています。地域のお年寄りが講師となって子どもたちに料理を教えており、地域も世代も超えた交流の場となっています。



旧思川は、親水公園として生まれ変わり、多くの人でにぎわっています。綺麗な水が流れていて、水辺のレジャーを楽しんでいる人がいたり、子ども向けに水中の生き物調査などの環境教育をはじめとする自然塾が開かれていたりします。



農産物直売所では、地元の農家さんが生産した農産物はもちろんのこと、生井地区の市民農園で地区外の方が作った野菜も売られています。



渡良瀬遊水地に訪れた人が気軽に立ち寄れるように、コウノトリ交流館は堤防の上に移転をしました。緊急用の資材を備蓄しておく倉庫や農耕車などを避難させておく防災ヤードと併設され、休日にマルシェが開かれており、地域住民が集まるきっかけのひとつとなっています。



エコツーリズムガイドが同乗したグリーンスローモビリティが渡良瀬遊水地内を走行し、解説を聞きながら渡良瀬遊水地の広大な自然を味わい、背景にある歴史を学ぶことができます。



新たな交流拠点では、サイクリングターミナルも設置されており、渡良瀬遊水地は多くの来訪者でにぎわっています。

5-2ゾーニング

渡良瀬遊水地の30年先の姿を実現するため、渡良瀬遊水地と周辺地域を一体的に振興することとし、5つのゾーンに分けた。

ZONE

1

コウノトリ交流館 旧思川周辺地域



- ・コウノトリ交流館の整備
- ・旧思川の整備・導水調整
- ・周辺移動手段の整備
- ・ヨシの利活用
- ・関連商品の開発
- ・エコツーリズム
- ・魅力発信

ZONE

2

下生井小学校
あんずの里 桜つつみ公園地域

- ・周辺のアクセス道路の整備
- ・快適に利用する環境の整備
- ・下生井小学校を中心とした環境教育モデルの構築

ZONE

3

第2調節池 環境学習フィールド3等
渡良瀬遊水地の小山市域範囲

- ・ヨシ原保全、再生の調整
- ・獣害対策
- ・外来生物や樹林化対策
- ・コウノトリ・トキの生息環境の保全・再生
- ・スポーツ・レクリエーション利用
- ・主体的な保全活動の支援
- ・遊水地内のアクセス向上

渡良瀬遊水地
第2調節池生井
桜つつみ
公園環境学習
フィールド3ZONE
3

谷中湖

主要道路

主要河川



ZONE 4 生井地区 寒川地区の農地



・環境にやさしい農業の推進

ZONE 5 周辺市町 関連する広域地域



- ・二次交通の整備
- ・周辺地域や関係者との連携、協力
- ・ガイドの養成・生涯学習支援
- ・関連サイトとの広域連携

5-3 将来像実現のための行動理念

渡良瀬遊水地の30年先の姿を実現するため、渡良瀬遊水地と周辺地域を一体的に振興することとし、5つのゾーンに分けました。全体の将来像を実現するために、それぞれの行動理念を設定します。

ゾーン①: コウノトリ交流館・旧思川周辺地域

コウノトリ交流館の機能の充実をはかるため、渡良瀬遊水地に関する情報発信や地域交流、また、渡良瀬遊水地の豊かな自然資源に触れるエコツアーリズムや体験講座を実施する「ワイズユース」の新たな拠点施設の整備を行っていきます。また、コウノトリ交流館は、昔の原風景を残し、地域住民にとって大切な場所である旧思川を繋いで一体的に活用できるようにし、地域固有の魅力を活かしつつ、【興味⇒体験⇒学び⇒保全】の好循環を生むための取組を実施していきます。

ゾーン②: 下生井小学校、あんずの里、桜つつみ公園地域

小山市生井地区に点在する、生井桜つつみやあんずの里など、魅力的なスポットを連携して、一体的に利用するための整備を行っていきます。また、地区内にある「下生井小学校」は渡良瀬遊水地に隣接しており、豊かな自然環境を活かした学習を進めています。下生井小学校を中心に、環境教育モデルを構築し、渡良瀬遊水地及び周辺地域の魅力を後世にも伝承できるようにします。

ゾーン③: 第2調節池環境学習フィールド3等渡良瀬遊水地の小山市域範囲

渡良瀬遊水地の広大なヨシ原を軸に形成される景観と豊かな生態系は、渡良瀬遊水地の大きな魅力の一つです。この湿地環境を適正に管理していくために、ヨシ原の保全に取り組むとともに、関係者と連携したゾーニングや、外来種対策、鳥獣害対策、湿地保全活動等を実施します。

また、渡良瀬遊水地を継続的に守り育てていくためには、より多くの個人や団体の関わりが必要です。渡良瀬遊水地や周辺地域の雄大な自然に触れることは、渡良瀬遊水地に興味をもって頂くために重要なことです。その体験から楽しさや学びを得て、より深く知り、保全につながるようなエコツアーリズムや環境教育、普及啓発、交流を推進していきます。

ゾーン④: 生井地区、寒川地区の農地

渡良瀬遊水地周辺の小山市生井地区、寒川地区は、広大な田園風景を有しており、コウノトリの貴重な餌場となっています。有機農業推進の一環として、これまで「ふゆみずたんぼ」や「生井っ子」等の農薬や化学肥料を低減する稲作を実施してきました。その他、「なつみずたんぼ」という夏季の圃場に湛水する取組も行っています。今後も引き続き、環境にやさしい農業を支援し、コウノトリなどの生きものの生息・生育環境に配慮した農業を実施していきます。

ゾーン⑤: 周辺市町、関連する広域地域

渡良瀬遊水地周辺の4県4市2町と連携して、広域的な交通の利便性を向上していきます。物理的な連携の他に、イベントの共同開催や交流活動の展開など、渡良瀬遊水地関連の地域づくりを進めていきます。また、ラムサール条約登録湿地やコウノトリ・トキの野生復帰地域として、国内外を問わず広域的に連携をし、取組を進めていきます。

5-4 施策の体系

それぞれのゾーンの行動理念を基に、下記の施策を実施していきます。

ゾーン	施策
①	コウノトリ交流館・旧思川周辺地域
◆	1 コウノトリ交流館の整備
◆	2 旧思川の整備、導水調整
	3 渡良瀬遊水地及び周辺地域の移手段整備 (グリーンスローモビリティ、レンタサイクル)
	4 ヨシの利活用機会の創出
	5 渡良瀬遊水地、コウノトリ関係商品の開発販売促進
◆	6 エコツーリズムの推進
◆	7 渡良瀬遊水地及び周辺地域の魅力発信
②	下生井小学校、あんずの里、桜つつみ公園地域
	8 渡良瀬遊水地周辺のアクセス道路整備
◆	9 快適に利用するための環境整備
◆	10 下生井小学校を中心とした環境教育モデルの構築
③	第2調節池環境学習フィールド3等渡良瀬遊水地の小山市域範囲
◆	11 ヨシ原保全、ヨシ焼き継承支援
◆	12 ヨシ原の再生に関する調整
◆	13 湿地保全活動の実施
	14 イノシシやシカ等の鳥獣対策の実施
	15 外来生物や樹林化の対策
◆	16 コウノトリ・トキの個体保護
◆	17 スポーツ・レクリエーション利用の推進 (水辺遊び、サイクリング、ボート等)
◆	18 主体的な保全活動の支援
◆	19 渡良瀬遊水地内のアクセス向上
◆	20 ゾーニング管理の実施
④	生井地区、寒川地区の農地
◆	21 環境にやさしい農業の推進
⑤	周辺市町、関連する広域地域
	22 二次交通の整備(コミュニティバス)
◆	23 周辺地域や関係者との連携、協力
◆	24 ガイドの養成・生涯学習支援
	25 関連サイトとの広域連携

※数字前の◆は渡良瀬遊水地第2調節池エコミュージアム基本計画の継承・統合施策ゾーンごとに主な施策を示しており、同じ施策のうち複数のゾーンに該当する場合があります。